

# 基盤整備事業完了祝う

## 大東・下内野地区 記念碑除幕式

一関市大東町大原の下内野地区で2010年度に完了した基盤整備事業の記念碑が、地元の下内野ふれあい会館の敷地内に建立された。16日、現地で関係者らが出席して

除幕式が行われ、基盤整備事業の完了を祝った。同事業は06年度から5年間で実施した同地区の区画整理や農道、水道の整備事業。同地区は、小区画の水田が多く、基盤整備が必要とされていた。00年から中山間地域等直接支払制度が導入されたのを機に、1999年に下内野自治会が策定したふるさとづくり「4WD計画」

に基づき、区画整理と農道、水道整備に取り組みことを決定。下内野地区基盤整備促進事業推進委員会を設立し、事業を進めた。基盤整備事業は、同町大原字岩脇地内などで、区画整理13・5畝、農道525㍍、営農用水1800㍍を整備。農林水産省の元気な地域づくり交付金（事業移行後は農山漁村活性化プロジェクト

支援交付金）の補助を活用した。総事業費は2億1090万円。

除幕式には、主催の推進委（小山謙次郎会長）

のメンバーをはじめ県や市、一関東部土地改良区、県議、市議、施工業者など関係者、来賓ら合わせて約60人が出席。記念碑前に設けられた祭壇に手を合わせた後、小山会長らが記念碑を除幕し

毎土曜日・29日 特売日

精肉 **加根利**

多少に拘らず配達致します

毎週日曜定休日

一関市大手町 ☎0191(23)3268・3269

岩手日日(H25.6.17)



た。

記念碑は、元大東町長の小原伸元氏の揮毫で「郷心無窮」「山水不変 里人の心 結び合う」の文字が刻まれている。

式終了後、同会館で完工祝賀会が開かれた。席上、小山会長は「今後も農業情勢がより一層厳しくなっていく中で、地域全体で豊かな生活を営めるように、整備された耕地を地域の財産として有効に活用し、当地にふさわしい農業を確立していく」と決意を述べた。

記念碑除幕式で祭壇に玉串をささげ、手を合わせる小山会長